

富山市・バリ州における脱炭素社会実現に向けた都市間連携事業

バリ州では、2022年に開催されたG20を契機にグリーン化、脱炭素化に向けて先進的な取り組みを推し進めている。また、交通分野の低炭素・脱炭素化のため、EV等の普及政策も推進している。一方、豊富な太陽光ポテンシャルを有しているものの、制度面や系統接続の課題があり、さらなる普及には課題が多い。また、増大する廃棄物の処理についても課題を有する。そこで、本事業では、長年の協力実績のある富山市とともに、交通分野、発電分野、廃棄物分野における低炭素技術導入実績を有する富山市企業と連携しつつ、政策面・技術面での課題解決を図る。

インドネシア共和国 バリ州

- ・再生可能エネルギー普及
- ・交通分野の脱炭素化



富山市

- ・SDGs未来都市
- ・ゼロカーボンシティ表明
- ・コンパクトシティ政策
- ・水素、再エネ技術の活用
- ・バリ州と協力協定



富山市・バリ州における脱炭素社会実現に向けた都市間連携事業



【事業活動】

- ・バリ州との2回にわたる協議
- ・2回の現地渡航、調査の実施
- ・現地調査により6社の太陽光発電事業者と面談、関係構築

【成果】

- ・再生可能エネルギー由来水素利用による脱炭素化について病院等より関心を獲得
- ・水素利用ポテンシャル地点の特定
- ・自家消費型太陽光発電の導入体制構築
- ・太陽光EPC事業者6社へのJCM設備補助事業紹介と関心の獲得

【会議・セミナーの様子】



▲バリ州との面談



▲太陽光発電事業者との面談